

いじめ防止対策推進法に基づく本校の取組について

小樽市立潮見台中学校 令和7年（2025年）4月

本資料は、「いじめ防止対策推進法」（以下、法という。）の趣旨を踏まえ、学校のいじめ防止等の取組を保護者の皆様に理解していただくことを目的に作成しました。

1 いじめの定義について（法には次のとおり定められています。）

いじめとは、児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）で、その行為の対象になった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。

いじめ
とは？

一定の人間関係にある他の児童生徒が行う

心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネット上も含める）

行為を受けた児童生徒が心身の苦痛を感じている

それでは、次のケースはいじめにあたるでしょうか？ 考えてみましょう！！

同じクラスの生徒と遊んでいるうちに、自分の嫌がる顔やポーズをさせられ、スマートフォンで撮影された。ただし、その行為は「一度きり」で、今は行われなくなっている。自分としては、その画像が友達の間で SNS を通じて拡散されるのではないかと考えると、とても苦痛だ。

友達の間で、たとえ一度きりで、今、行為が行われていなくても、行為を受けた生徒が心身の苦痛を感じていれば、学校はいじめとして認知し、解消に向けて対応します。

いじめの対応について

- 学校は、学校いじめ対策組織で対応します。
- 「けんか」や「ふざけ合い」であっても、目に見えないところで被害が発生している場合もあるため、背景にある事情を把握し、児童生徒の感じる被害性に着目して、いじめに該当するか否か判断します。
- いじめは、被害と加害の関係が入れ替わることもあることを踏まえて対応します。

いじめの解消について

- いじめが「解消している」状態とは、
 - ① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。
 - ② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと。
- いじめの解消の判断は学校いじめ対策組織により、判断します。

2 「いじめ防止対策推進法」に定める学校の取組

本校のいじめ防止に向けた取組を紹介します。

潮見台中学校
いじめ防止基本方針
(概要)
全文は学校HPを
御覧下さい。

生徒が安心・安全に他者とつながり、学ぶ意欲を持って充実した学校生活を送ることができるよう、「いじめは、どの学校・どの学級でも、どの子どもにも起こりうるもの」という認識に立ち、本校の生徒が明るく豊かな学校生活を送ることができるとともに、いじめ防止といじめの早期発見・早期対応を図るため、この基本方針を定めています。

潮見台中学校
いじめ防止対策委員
会の役割や活動

本校では、いじめ防止といじめの早期発見・早期対応を図るため、定期的にいじめ防止対策委員会（生活指導委員会）を開催しています。この委員会では、①未然防止・早期発見の取組の企画（アンケート、教育相談等）、に配慮の必要な生徒への支援検討、③学校いじめ防止基本方針の作成・見直し等の業務を行っています。

本校の
いじめ防止
プログラムの活動

「潮見台中いじめ防止基本方針」に基づく計画的な活動 <主なもの>
①いじめアンケートの実施（年2回） ②生徒理解ツール「ほっと」の実施
③情報モラル教室の開催 ④スクールカウンセラーとの連携研修の開催
⑤ネットパトロールの実施 ⑥いじめ防止標語の作成（全校）
⑦いじめに関する啓発活動（小樽いじめ防止サミットへの参加等）の実施
⑧全校生徒との校長面談の実施

不明な点やいじめに関する相談は、遠慮なく相談ください。

いじめに関する相談は、学級担任の他、相談しやすい教職員に遠慮せず相談してください。また、相談窓口として、「いじめ対策組織」を設置しています。気軽に相談願います。

令和7年度の潮見台中学校のいじめ対策組織担当は、生活担当 岡崎 小西です。

連絡先 0134-33-1080（学校代表電話）

北海道教育委員会の相談窓口

相談窓口	電話番号	相談時間等
北海道子ども相談支援センター（電 話） （メール）	0120-3882-56 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日 24 時間
北海道立特別支援教育センター（電 話） （メール）	011-612-5030 tokucensoudan@hokkaido-c.ed.jp	祝日・年末年始を除く平日 9～12 時 13～17 時
後志教育局教育相談電話（電 話）	0136-22-2222	

道教委ホームページで、道のいじめに関する条例やいじめ防止基本方針、いじめに関する調査結果などを確認できます。

北海道教育庁学校教育局
生徒指導・学校安全課
Web ページ

